

せせらぎの湯に
プロレスラー

3月28日(火)

藤波辰爾氏

来たる！



1953年12月28日、大分県国東部に生まれる。中学時代は陸上競技を行っていた。この頃にアントニオ猪木に憧れ、プロレスラーを目指す。中学卒業後、地元の自動車整備工場に就職したが、プロレスへの夢を断ち切れず、1970年に別府温泉へ湯治に来ていた同郷である日本プロレス所属のプロレスラー北沢幹之に直談判。そのまま巡業に付いて行き日本プロレスに入団した。(入門同期は佐藤昭雄、キラー・カーンなど)北沢幹之のはからいにより猪木の付き人となり、1971年5月9日にデビュー。デビュー戦の相手は北沢が務めた。当時の猪木が「いつでもどこでも俺のことを見ている」と言うほど猪木につきっきりであり、猪木は妻のと倍賞美津子より藤波の方が自分のことをわかっていると評していた。中学時代は家に帰ると夕食前に汁かけご飯をどんぶり3杯食べる大食漢であったが、プロレス入りした途端緊張と威圧感で食事が喉を通らなくなるほど苦難を経験した。

『B.S TIMES 5月号』の取材で、せせらぎの湯支配人と対談。温泉には13:30～約1時間の滞在予定です。あなたも逢えるかも！？